

## 2011年 3月の予定

日	月	火	水	木	金	土
		1 れんげ会 (仏婦研修会)	2	3	4	5
6 7:00 日曜礼拝 AM ふれあい農園	7	8 13:30 踊り教室	9 12:30 ヨガ教室 13:30 囲碁クラブ	10	11	12 14:00 グランド ゴルフ
13 7:00 日曜礼拝 15:00 雅楽教室	14	15 13:30 踊り教室	16	17	18	19
20 7:00 日曜 礼拝 AM ふれあい農園	21 春分の日 12:00 抹茶を楽しむ会 13:30 春季彼岸法要	22 14:00 グランド ゴルフ	23 12:30 ヨガ教室 13:30 囲碁クラブ	24	25	26 15:00 壮年会
27 7:00 日曜礼拝 AM ふれあい農園	[講師] 富田富士也師 (教育カウンセラー)	29	30 9:00 ボラン寺 (寺報発送)	31 13:30 定例法座		

ホームページもご覧ください お寺の日々をつづる「天真寺日記」更新中!

<http://www.tenshin.or.jp/> 「天真寺」で探してね

### 天ちゃんの一言

先月、築地新報の取材で「ゲゲゲの女房」を書かれた水木しげる夫人・武良布枝さんにお会いしました。大変気さくで、穏やかな方です。「生まれてたから生きているような人間です」とは、水木さんが布枝さんを評された言葉。なんともユニークながら、共に苦勞を乗り越えてきたという感謝の思いが自然に伝わってきます。きっとその大らかさに助けられてきたんだろうなと、こちらまで微笑ましい気持ちになりました。(静香)



和泉家石材店さんが天ちゃんをクリーニング。可愛さにも磨きがかかりました☆



### 浄土真宗本願寺派 天真寺

千葉県  
松戸市金ヶ作106  
TEL  
047-389-0808  
FAX  
047-389-0809



【来月】  
4月20日(水)  
お寺の行事は  
すべて参加自由です

# 月刊 天真

発行日 2011(平成23)年3月1日  
発行者 浄土真宗本願寺派天真寺  
第408号

## 親鸞聖人750回大遠忌法要 「世のなか安穏なれ 仏法ひろまれ」

一生に一度の機会です。ぜひとも、尊いご縁に遇って下さい。天真寺では、4月8日～10日(2泊3日)の団体参拝旅行において、初座にお参りします。参加の方は、体にご気をつけて4月を迎えましょう。 合掌



子どもと一緒に…

## 楽しい農業体験!



4月から「天真寺ふれあい農園」にキッズスペースができます。種植えから収穫までの農業体験は、きっと貴重な思い出となり、豊かな心を育てるでしょう。自由参加、参加無料です。

作業日: 4月～7月 第4日曜 午後2時  
8月 収穫&バーベキュー

## 春です さぁお寺に出かけましょう!

お寺は…「仏さまと私 そして人のところと私のところが つながるところ」。仏さまのお話を聞いて、私の生き方を見つめ直しましょう。それぞれに限りあるいのちです。今、この時が、「ご縁」。暖かな春を迎えます。お彼岸には、どうぞお寺に足を運んで下さい。皆さまのご参詣をお待ちしております。



## 春のお彼岸法要

【日時】3月21日(月)春分の日 午後1時半～4時

【講師】富田 富士也 (とみた・ふじや) 師  
(コミュニケーションワーカー/教育・心理カウンセラー)

「せめぎあって 折り合って お互いさま。并勘定で、人間まんざら捨てたもんじゃない」。そんな「けんかして仲直りして」の心の育ち合いを願う。1934年静岡県御前崎市生まれ。現在、「子ども家庭フォーラム」代表(松戸)、文京学院大学生涯学習センター講師等をつとめる。



過去帳をご持参の方は、尊前にお供えいたします  
年忌、またご命日をご縁として、お彼岸法要にご家族でお参りください

### 開教に打ち込む父を見て…

昭和56年10月10日発行、古い「本願寺新報」が出てきました。住職が京都の伝道院一期生として住職課程を受講した時のことが記事になっていました。今年、天真寺開基40年、浄圓寺創建296年。歴史を感じます。

#### ■信心の世界に生きる

千葉県松戸市の天真寺で法務にいそしむ西原恵照（31）もその一人。今年4月から7月にかけて行われた今年度第一期住職課程を修了したばかりだ。恵照さんを語る場合、天真寺を建立し都市開教に身命を注ぐ父・正念住職（54）の存在に触れないわけにいかない。島根県邑智郡のいわゆる過疎寺院に生まれた正念さんは、戦後しばらく農協で働きながら寺の護持にあたっていたが、昭和32年に上京する。「島根でも生活できたのですが生き方の問題として”信心の世界に生きる” 一大決心をした」からだった。過疎地から過密都市へ移って伝道を志した好例といえよう。



#### ■苦勞の連続の末

しかし、東京での生活は苦勞の連続とってよかった。六畳一間のアパートに妻と子ども2人。長男の恵照さんは、まだ小学校に入るか、入らないかの年齢だった。それに、東京に門信徒や友人がいるというのでもなかった。全く裸一貫からの出発だったのである。正念さんは夜、東京佛教学院に通い、昼はもっぱら、携帯用のりんをたたきながら、アパート周辺を歩き回った。魚屋の前ではツバをはきかけられたこともあったという。経済的な苦しみに耐えているうち、やがて人とのつながりもでき、昭和47年には待望の寺院がもてるようになった。



島根の浄圓寺

#### ■一人でも念仏者を…

といっても、借金をして分譲住宅を買ったのである。場所は人口急増都市で本派寺院のない松戸市を選んだ。初めの法座を開いても集まるのは2、3人だったが、正念住職の「一人でも念仏者が育ってくればありがたい。ご門徒の方と一緒に法を喜びたい」とするひたむきな態度が、人々の共感を呼び、今では毎月の法座に2、30人、彼岸会などの行事には20畳の本堂が満堂になるという。

#### ■もっと勉強したい！



天真寺の報恩講

こうした父の姿を見て育った恵照さんが、影響を受けないはずがない。知らず知らずのうちに仏教への関心が高まり、新寺院建立をキッカケに東京佛教学院へ入学。また、数年後、両親が病気になったのを機に、4年間のサラリーマン生活にも別れを告げ、僧侶の道を歩む決心をしたのである。すでに結婚していた恵照さんが、妻と2人の子どもの生活を考えると、ずいぶん勇気がいったに違いない。さらに「もっと勉強したい」という気持ちが、恵照さんをして住職課程に進ませた。



#### ■ご門徒さんに生かされている

その恵照さんがいう。「住職課程に入学して、ご門徒さんによって生かされていることをつくづく感じました。ただ、講義内容については抽象的なので、もっと実践的な研修があってもよいと思います」と。今、恵照さんは住職を補佐しながら、現代人にアピールできる寺院をめざし、子ども会や声明の会を結成しようと、実践に励んでいる。(S56.10.10発行「本願寺新報」掲載記事より)

平成23年	年回表
一周忌	平成22(2010)年
三回忌	平成21(2009)年
七回忌	平成17(2005)年
十三回忌	平成11(1999)年
十七回忌	平成7(1995)年
二十五回忌	昭和62(1987)年
三十三回忌	昭和54(1979)年
五十回忌	昭和37(1962)年
百回忌	明治45(大正元) (1962)年

法要はご命日の前後いずれでも構いません。日の善し悪しではなく、ご家族お揃いでお参りできる日を選びましょう。ご相談はお早めにお願いたします。

#### 一緒に参りませんか♪ -3月れんげの集い-

日時: 3月1日(火)午前9時 会費:1000円(会員以外2000円)

お寺に連絡の上、JR松戸駅中央改札口前売店にお集り下さい

講師: 福間 義朝 (ふくま・ぎちよう) 師

副住職の師匠! 去年の天真寺秋彼岸にお話して下さった先生です



※なお、今年は会場が異なりますのでご注意ください(銀座プロッサムにて開催)